



今日は

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科、人工知能(AI)を使った塾

を取材しました。



本日の
こども編集長

未来の教材はどうなるの?

まつおかりよ
松岡遼さん(6年)
東京都杉並区立西田小

タブレット端末や電子黒板な

ど、デジタル教材が使われてい
る学校は少なくありません。紙の教科書を電子データにしたデジタル教科書は、2020年度から小、中、高校で使えるようになります。コンピューターなどに人間のような知的能力を持つAIによる技術、人工知能(AI)を取り入れる教育現場も、少し現れています。

未来的教材はどうなっていくの

であります。松岡編集長の疑問

に答えると、慶應義塾大学大

学院メディアデザイン研究科教

授の中村伊知哉さんと、AIを

使った塾を経営する神野元基さ

んに話を聞きました。

「将来は、子ども一人にロボ

ット一台が当たり前になるか

も」と話すのは中村さんです。

A.I.を搭載したロボットが先生

と教材の両方の役割を果たし、

子どもの能力に合わせて勉強を

教えます。A.I.搭載ロ

ボットは会話して学ぶ

ほどにかじこくなるの

で、自分を最もよく理

解してくれる存在にな

るかもしれません。

知識の暗記は、A.I.

搭載ロボットに任せられ

ばいいので、重要な視さ

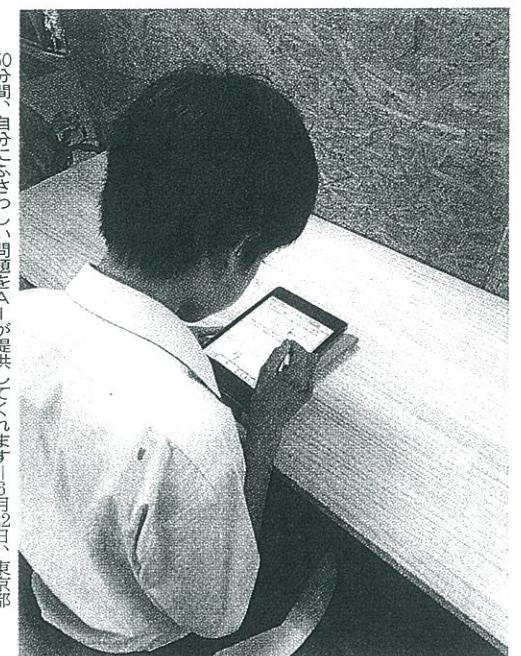
れなくなります。知識

を使って何かを生み出

れます。情報を整理し、

構成する編集者のよう

な力です。学校は子どもたち同



50分間、自分にぶさわしい問題をAIが提供してくれます=6月22日、東京都世田谷区の塾「Quuben'aアカデミー」



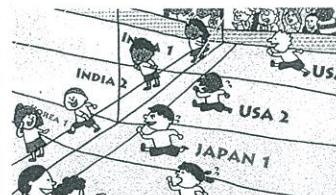
それぞれが自分のペースで学習にはげみます。先生は子どもたちが困った時に手助けします=6月22日、東京都世田谷区の塾「Quuben'aアカデミー」



理科の授業でVRで海の底を体感。力や貝を実際にさわるような疑似体験もできます=イメージ図はどれも中村伊知哉さん提供



海外の子どもたちとつながっていっしょに音楽を作ったり、演奏をしたり。それぞれのリズムやメロディーで思いもよらない楽しい音楽ができるかも



世界各国の子どもが映像でつながり、子どもオリンピックもできるかも

タブレット端末や電子黒板など、デジタル教材が使われている学校は少なくありません。紙の教科書を電子データにしたデジタル教科書は、2020年度から小、中、高校で使えるようになります。コンピューターなどに人間のような知的能力を持つAIによる技術、人工知能(AI)を取り入れる教育現場も、少し現れています。

未来的教材はどうなっていくのであります。松岡編集長の疑問に答えると、慶應義塾大学大

学院メディアデザイン研究科教

授の中村伊知哉さんと、AIを

使った塾を経営する神野元基さ

んに話を聞きました。

「将来は、子ども一人にロボット一台が当たり前になるかも」と話すのは中村さんです。

A.I.を搭載したロボットが先生

と教材の両方の役割を果たし、

子どもの能力に合わせて勉強を

教えます。A.I.搭載ロ

ボットは会話して学ぶ

ほどにかじこくなるの

で、自分を最もよく理

解してくれる存在にな

るかもしれません。

知識の暗記は、A.I.

搭載ロボットに任せられ

ばいいので、重要な視さ

れなくなります。知識

を使って何かを生み出

れます。情報を整理し、

構成する編集者のよう

な力です。学校は子どもたち同

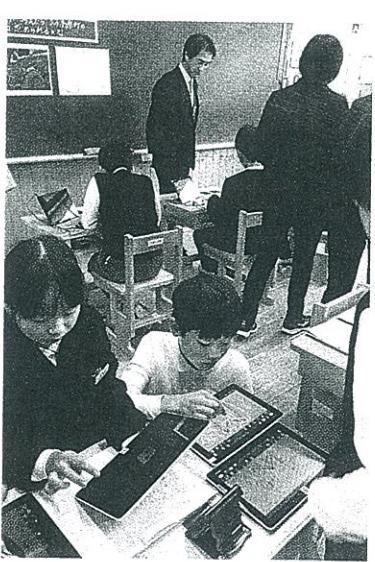


こども
編集長
感想

未来の教材にAIが使われることには、思っていいたよりも利点が多いでおどろきました。仮想現実で水中や宇宙空間に行ったり、危険な理科実験をしたりするのは、とてもおもしろそう。AIは使い方によって自分の能力を高めてくれるものだと分かりました。AIを搭載したロボットと人間、デジタル教材と紙や鉛筆のバランスをとって、おたがいの良さを生かすことが大切だと思いました。

A.I.と人が効率よく役割分担

A.I.が算数や数学を教えてくれる塾、「Quuben'aアカデミー」は、東京都世田谷区にあります。下校後の小学生が次々にやってきてタブレット端末と向き合います。2010年にアメリカのシリコンバレーで仕事をしていた神野さんは、A.I.の時代に勝ち残るために当たりました。A.I.の時代に勝ち残る子もたらを育てたいと、帰国後の12年間で塾を設立。毎日いそがしい子どもたちに、効率よく個人に合った速度で勉強してもらおうと考えました。1学年の算数や数学が32時間の学習で終わる設定です。塾にはこれまでにべ60人が通っています。授業は週2回で、1回50分。子どもたちがタブレット端末に表示された問題を解き、時間が経つにつれて中学生2年の泉隆聖さんは、「A.I.にマンツーマンで教えてもらつて、苦手だった数学が理解できるレベルにまでなった」と話しています。人間の先生は、自分のパソコンなどでの画面を見ています。生徒があまり考えずに答えを出したりすると、「問題をあまりよく読んでいないようです」と表示されます。こんなときは人間の先生の出番。「どうした」と声をかけ、解法のヒントを与えます。神野さんは、「A.I.と人が役割分担をする」とで効率的に学習できます」と話します。



SINCE 1967

タブレット端末を使って教え合いながら学びます
愛媛県久万高原町の明神小

©朝日新聞社